

貯蓄・負債現在高階級別の収支

1 二人以上の世帯の状況

消費支出は貯蓄現在高が多くなるほど多い

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に1世帯当たり1か月間の消費支出をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って消費支出もおおむね多くなっている。

費目別に消費支出に占める割合をみると、貯蓄現在高が多くなるに従って教養娯楽及び「その他の消費支出」はおおむね高くなっているが、食料及び光熱・水道はおおむね低くなっている（図17、表15）。

図17 貯蓄現在高階級別消費支出及び費目別構成比（二人以上の世帯） - 平成24年 -

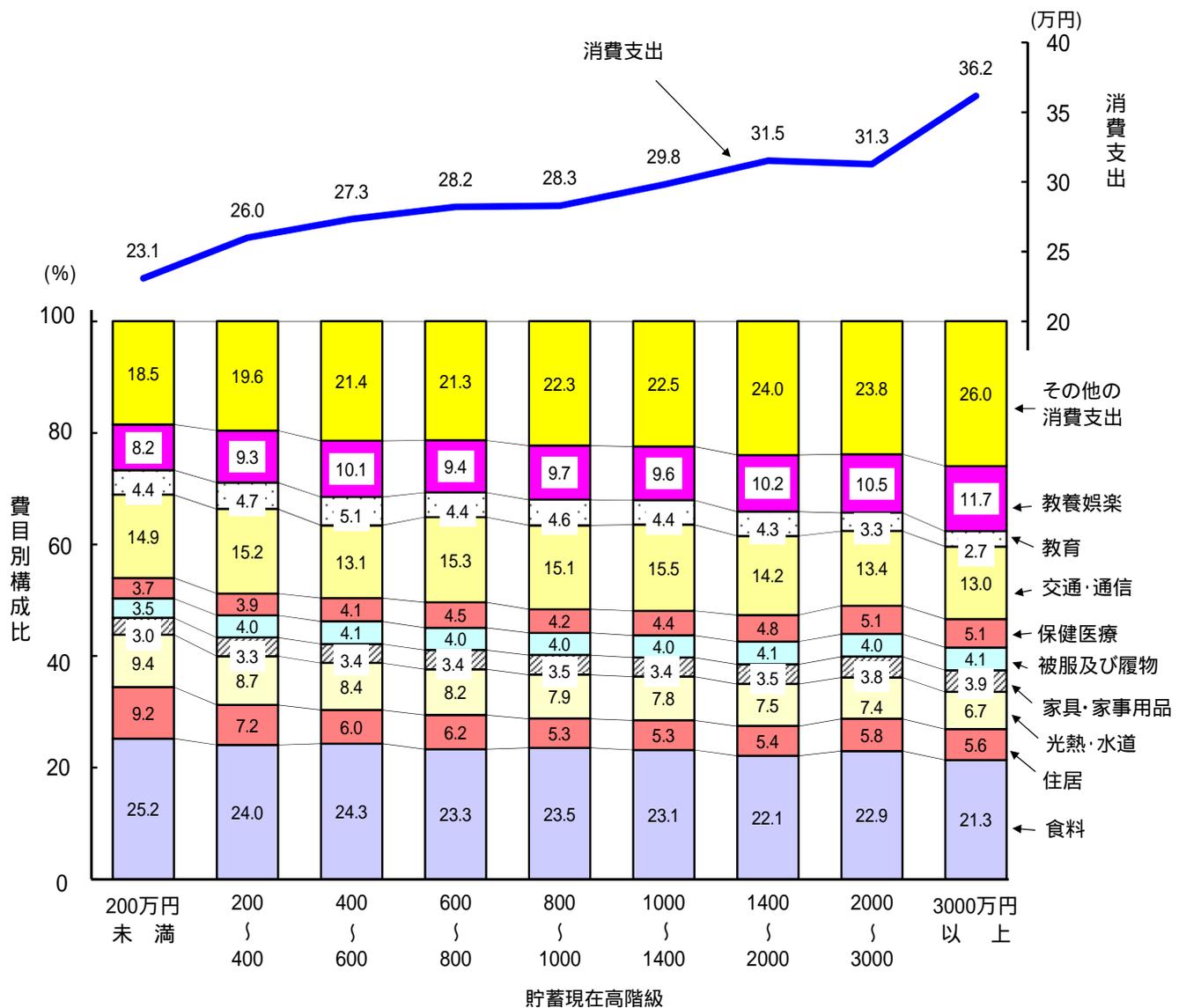


表15 貯蓄現在高階級別消費支出及び費目別構成比（二人以上の世帯） - 平成24年 -

項 目	平 均	200万円	200	400	600	800	1000	1400	2000	3000
		未 満	万円以上 ~ 400 万円未満	~ 600	~ 800	~ 1000	~ 1400	~ 2000	~ 3000	万 円 以 上
世帯主の年齢(歳)	57.5	49.9	51.4	53.7	55.9	56.3	58.3	60.1	63.0	65.6
持家率(%)	81.4	58.3	72.9	80.3	81.3	84.5	85.2	89.0	93.0	95.1
有業人員(人)	1.33	1.48	1.49	1.38	1.36	1.40	1.33	1.27	1.21	1.14
					金 額 (円)					
消費支出	286,169	230,829	259,920	273,262	282,019	282,833	298,123	315,269	312,778	361,728
食 料	67,275	58,113	62,505	66,372	65,570	66,430	68,986	69,571	71,746	77,173
住 居	18,231	21,345	18,638	16,460	17,372	14,955	15,921	16,941	18,155	20,079
光熱・水道	22,815	21,656	22,700	22,979	23,152	22,208	23,293	23,746	23,082	24,073
家具・家事用品	10,122	6,972	8,680	9,349	9,693	10,030	10,195	11,092	11,781	14,024
被服及び履物	11,453	8,020	10,380	11,143	11,257	11,222	11,835	12,842	12,598	14,781
保健医療	12,777	8,486	10,079	11,279	12,791	11,896	13,054	15,033	15,881	18,474
交通・通信	40,089	34,457	39,492	35,723	43,160	42,620	46,091	44,732	41,874	47,014
教 育	11,610	10,166	12,200	13,858	12,428	13,041	13,182	13,676	10,306	9,908
教養娯楽	28,483	18,926	24,274	27,531	26,451	27,394	28,614	32,084	32,796	42,269
その他の消費支出	63,316	42,688	50,972	58,569	60,146	63,035	66,952	75,554	74,561	93,933
					構 成 比 (%)					
消費支出	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	23.5	25.2	24.0	24.3	23.3	23.5	23.1	22.1	22.9	21.3
住 居	6.4	9.2	7.2	6.0	6.2	5.3	5.3	5.4	5.8	5.6
光熱・水道	8.0	9.4	8.7	8.4	8.2	7.9	7.8	7.5	7.4	6.7
家具・家事用品	3.5	3.0	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4	3.5	3.8	3.9
被服及び履物	4.0	3.5	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1
保健医療	4.5	3.7	3.9	4.1	4.5	4.2	4.4	4.8	5.1	5.1
交通・通信	14.0	14.9	15.2	13.1	15.3	15.1	15.5	14.2	13.4	13.0
教 育	4.1	4.4	4.7	5.1	4.4	4.6	4.4	4.3	3.3	2.7
教養娯楽	10.0	8.2	9.3	10.1	9.4	9.7	9.6	10.2	10.5	11.7
その他の消費支出	22.1	18.5	19.6	21.4	21.3	22.3	22.5	24.0	23.8	26.0

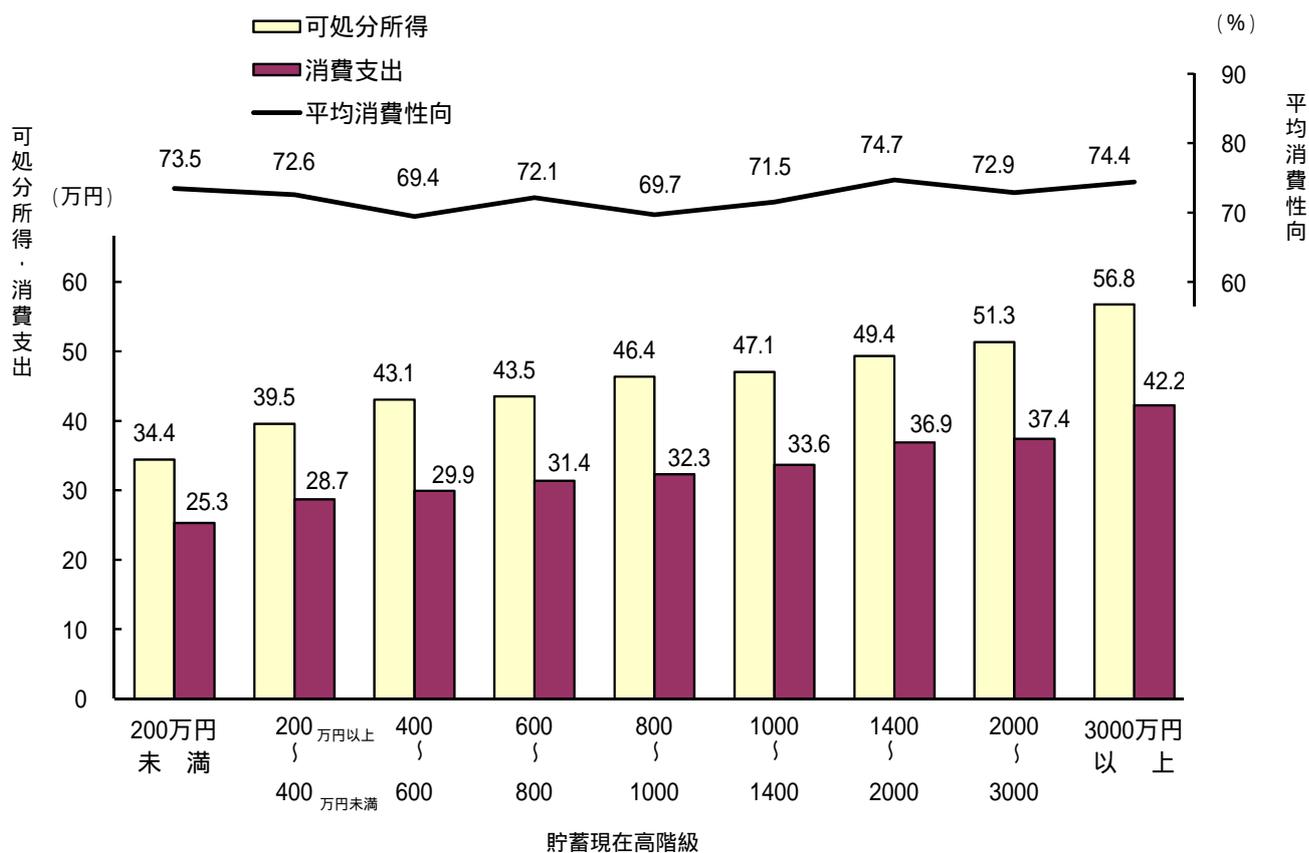
## 2 勤労者世帯の状況

### (1) 平均消費性向は貯蓄現在高による大きな差はみられない

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について貯蓄現在高階級別に1世帯当たり1か月間の収支をみると、消費支出及び可処分所得は貯蓄現在高が多くなるに従って多くなっている。

平均消費性向（可処分所得に対する消費支出の割合）は貯蓄現在高による大きな差はみられない（図18）。

図18 貯蓄現在高階級別可処分所得及び消費支出（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） - 平成24年 -



注1) 可処分所得とは、実収入から税金，社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

注2) 勤労者世帯の平均消費性向（年平均）は73.9%

(2) 平均消費性向は負債現在高が多い世帯で低い傾向がうかがえる

勤労者世帯のうち負債保有世帯について負債現在高階級別に収支をみると、可処分所得が多くなっても消費支出は必ずしも多くなっていない。平均消費性向をみると、負債現在高が多い階級ほど低くなっている。

また、住宅ローン返済額をみると、負債現在高が多い階級ほど多くなっている(図19)。

図19 負債現在高階級別可処分所得及び消費支出

(二人以上の世帯のうち負債保有勤労者世帯) - 平成24年 -

